

科目区分	専門基礎分野	科目名	微生物学	対象学生	第1学年
		単位数 (時間数)	1単位 (30H)	学 期	第1学期
担当講師	臨床検査技師				
科目目標	病理微生物の生態、感染経路、診断治療と感染予防対策について理解する。				
授業概要					
第 1回	微生物学の概要				(講義)
第 2回	病原微生物による宿主への感染の成立機序				(講義)
第 3回	病原微生物の分類				(講義)
第 4～5回	感染源と感染経路				(講義)
第 6回	病原微生物の滅菌法、消毒法、感染防御方法				(講義)
第 7回	病原微生物に対する治療法、耐性菌とは				(講義)
第8～9回	微生物等に対する免疫反応、細胞免疫と液性免疫				(講義)
第10～11回	細菌学各論、グラム陽性菌とグラム陰性菌				(講義)
第12回	近年話題の感染症、輸入感染症				(講義)
第13回	スピロヘータ、リッケッチャ、クラミジア、マイコプラズマとは				(講義)
第14回	各種ウイルス、真菌の特性				(講義)
第15回	まとめ・終了試験				
看護師国家試験出題基準					
人と病原体の関わり、ウイルス、細菌、真菌、薬剤耐性、滅菌と消毒、皮膚の構造と防御機構 粘膜の構造と防御機構、食細胞とサイトカイン、胸腺、脾臓、リンパ組織、免疫系の細胞、抗原と抗体 補体、液性免疫、細胞性免疫、アレルギー反応、組織適合性抗原、炎症、院内感染					
授業の進め方					
スライドやOHP等の視聴覚教材を使用して、学生が理解しやすいように感染症の実態を説明し、滅菌法や消毒法を学ぶことで、感染に対する防御知識を学ぶ。					
履修のポイント・留意事項					
人体に重大な影響を及ぼす病原微生物について、その基礎知識を学び、看護業務に役立つ知識を身に付ける。 感染症に対する詳細な知識によって、その予防に大いに役立てるようにする。現在巷に流行している各所の 感染症に対して、十二分に応用可能な知識を獲得する。					
テキスト					
系統看護学講座 微生物学 医学書院					
評価方法・配点					
授業への取り組み状況、終了試験にて総合的に評価する。					